

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生産振興課
 担当名: 花き・果樹・特産・水産担当
 内線: 4146 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P32	茶業研究所試験研究費			一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び	蚕糸特産研究費	茶業研究所費	
事業期間	昭和22年度～	根拠法令	なし			針路	12 儲かる農林業の推進	SDGsゴール	2, 17
						分野施策	1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	2-1, 2-2, 2-3, 2-5
1 事業概要 埼玉農業の競争力を強化するため、栽培管理技術の開発や、新品種の育成などの試験研究を実施する。 ア 環境変化に対応した技術の開発 △134千円 イ 埼玉ブランドとなる品種の育成と普及 △224千円 ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 △52千円 エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 △338千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 環境変化に対応した技術の開発 2,290千円 イ 埼玉ブランドとなる品種の育成・普及 5,161千円 ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 967千円 エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 5,872千円 (2) 事業計画(目標、達成水準、今後の計画等) ア 環境変化に対応した技術の開発 2課題(うち新規0) イ 埼玉ブランドとなる品種の育成・普及 2課題(うち新規0) ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 1課題(うち新規0) エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 4課題(うち新規0) (3) 事業効果 本県ブランド「狭山茶」に係る戦略的な試験研究が遂行され、多様化するニーズに対応した生産技術が茶業者並びに産地に提供され、本県茶産業が発展する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 独立行政法人等(農研機構等)、都道府県、大学、民間企業や農業者と共同して国庫資金等を活用して研究開発を実施する。また、農業関係団体、民間企業や農業者から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。 (5) その他 【予算項目別対応研究所】茶業研究所 (6) 補正予算の概要 執行留保分(消耗品費・燃料費)の減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員人件費 9,500千円×13人=123,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△748	財産収入	諸収入					△748	13,642
現計額	14,390	4,060	5,900					4,430	

事業内訳書

事業名	茶業研究所試験研究費		
単位事業名	環境変化に対応した技術の開発	予算額	△ 134千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△134	—	
合計	△134	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△134	—	執行留保分の減額 △134千円
合計	△134	—	

単位事業名	埼玉ブランドとなる品種の育成と普及	予算額	△ 224千円
-------	-------------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△224	—	
合計	△224	—	

単位事業名	埼玉ブランドとなる品種の育成と普及	予算額	△ 224千円
-------	-------------------	-----	---------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△224	—	執行留保分の減額 △224千円
合計	△224	—	

単位事業名	省力、低コスト、高品質生産技術開発	予算額	△ 52千円
-------	-------------------	-----	--------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△52	—	
合計	△52	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△52	—	執行留保分の減額 △52千円
合計	△52	—	

単位事業名	地域の特性を生かした技術開発と指導	予算額	△ 338千円
-------	-------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△338	—	
合計	△338	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△338	—	執行留保分の減額 △338千円
合計	△338	—	